

令和8年度

愛媛大学理学部
第2年次
編入学学生募集要項
4月編入学

自然災害の発生や感染症の流行等による入学試験の実施について

自然災害の発生や感染症の流行等によって、入学試験の実施が懸念される時は、本学のホームページで試験開始時刻の繰り下げや、試験の中止・延期、選抜方法の変更等の対応をお知らせしますので、定期的にホームページで確認してください。

受験情報サイト (URL) <https://juken.ehime-u.ac.jp/>



愛媛大学理学部

目 次

〈本募集の概要〉

I. アドミッション・ポリシー／選考方法の趣旨	1
II. 募集人員	1
III. 出願資格	2
IV. 出願手続	2
V. 選抜方法／試験科目、出題範囲／配点、評価基準および合否判定基準	4
VI. 個別学力試験の日時及び試験場	4
VII. 合理的配慮を希望する入学志願者の出願	5
VIII. 合格者発表／編入学確約書の提出／入学手続	5
IX. 編入学後の既修得単位の認定	5
X. 編入学初年度の学費・諸経費等	6
XI. その他	6
1. 個人情報の取扱	
2. 個別学力試験（筆記）の試験問題、正解又は解答例、出題意図の公表	
3. 編入学試験の個人成績の開示	
○本募集の問合せ先	7

令和8年度
愛媛大学理学部 第2年次編入学 学生募集要項
4月編入学

〈募集の概要〉

募集対象	理学科（2年次編入学者） 数学・数理情報コース、生物学コース、地学コース ※編入学後の履修プログラムは標準プログラムとなる。
募集人員 （「Ⅱ. 募集人員」参照）	各コース 若干人 ※選抜はコースごとに行う。
出願資格	「Ⅲ. 出願資格」を参照 ※事前の資格確認を要する場合がある。
出願期間	令和7年9月26日(金)～10月2日(木)消印有効（郵送のみ受付）
選抜方法・配点 評価基準	選抜方法：個別学力試験（筆記）、面接（口頭試問を含む。）及び書類 審査 配点（数学・数理情報コース） 個別学力試験（筆記）200点、面接及び書類審査100点、計300点 配点（生物学コース、地学コース） 面接（口頭試問を含む。）200点、書類審査200点、計400点 総合点により合否を判定する。同点者は同順位とする。 ※「Ⅴ. 選抜方法／試験科目、出題範囲／配点、評価基準および合否 判定基準」を参照
選抜試験実施日 試験実施場所	実施日：令和7年10月18日(土) 実施場所：愛媛大学理学部（愛媛県松山市文京町2番5号） ※出願受理後、出願者に試験実施に関する事項を個別に通知する。 ※試験場所等の詳細は、試験前日に、理学部2号館前に掲示する。
合格者発表 （電話・E-mail 等による 合否の照会には応じない。）	令和7年10月31日(金)10時 理学部ホームページ上（ http://www.sci.ehime-u.ac.jp/ ）に受験番号で合格者を発表するとともに、受験者に合否結果の通知を郵送する。 ※合格通知を受けた者は、指定の期日までに、本人及び保証人が連署した『編入学確約書』を提出する必要がある。提出がない場合、編入学を辞退したものとして取り扱う。
入学手続期間	編入学確約書を提出した者に個別に通知する。
入学（予定）日	令和8年4月1日 理学部理学科の2年次（受験した教育コースの標準プログラム）に編入学
問合せ先 （出願書類等提出先）	愛媛大学理学部入試係 〒790-8577 愛媛県松山市文京町2番5号 E-mailアドレス：scigakum@stu.ehime-u.ac.jp ※本募集に関する問合せは、E-mailにより行うこと。

I. アドミッション・ポリシー／選考方法の趣旨

科学は、数理、物質、自然、生命を支配する原理や法則を探究する学問であり、身の回りの「何故」に対する合理的な答えを知りたいという知的好奇心が積み重なって発展してきました。理学部は、数学・数理情報、物理学、化学、生物学、地学の理学5基幹分野を基盤に、宇宙・地球・環境に関連する学際的分野に携わる先端研究・学術推進機構の研究センター群と協働して教育・研究を実施しています。理学部は、数理・物質・自然・生命にかかわる事柄に広く興味を持ち、科学を体系的に学習して理系人材として社会で活躍しようと志す入学者を受け入れ、各教育コースの特徴ある専門教育を通して汎用能力を有す理系人材として育成し、社会に送り出します。

この目的のために、理学部では次のような資質を有する学生を求めます。

1. 大学初年次レベルの知識・教養を修得しており、自律的に学習を進める準備がある。
2. 大学初年次の数学または高校課程の理科の十分な基礎学力を有し、数理・物質・自然・生命の探究に興味を持ち、科学をさらに深く学び理解しようとする意志がある。
3. 物事を論理的に考察し、自分の考えを論理的にまとめて表現することができる。
4. 継続的な学習により成長し、倫理観・責任感をもって主体的に社会とかかわり貢献しようと志している。

本選抜では、愛媛大学理学部で学ぶ強い意志と理学部理学科の課程を学修するための基礎学力等を有する短期大学・高等専門学校等の修了（予定）者または他大学在学者等を標準プログラム2年次に受け入れるため、教育コースごとに選抜試験（筆記試験・面接・書類審査）を実施し、基礎学力・理解力・目的意識・勉学意欲・出身学校の単位修得状況などを総合的に評価します。

II. 募集人員

令和8年4月 理学部理学科 第2年次編入学者を下記の通り募集します。

（表）理学部理学科 第2年次編入学の募集人員

教育コース*	募集人員
数 学 ・ 数 理 情 報	各コース若干人
生 物 学	
地 学	

*いずれのコースも編入学後の履修プログラムは標準プログラムです。

Ⅲ. 出願資格

本募集の出願者は、愛媛大学理学部で学業に取り組む強い意志を持つとともに、次の各号のいずれかに該当、または令和8年3月までに該当する見込である必要があります。ただし、愛媛大学在学中の者は、本募集に出願できません。

- ① 大学を卒業した者
- ② 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者
- ③ 修業年限4年以上の大学に1年以上在学（休学期間を除く。）し、31単位以上を修得している者
- ④ 修業年限が2年以上で、かつ、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）の専攻科を修了した者（学校教育法90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- ⑤ 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1700時間以上のものに限る。）を修了し、大学入学資格を有する者
- ⑥ 外国において、学校教育における14年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者で、上記①②③のいずれかに相当すると認められるもの

注)

1. 卒業（修了）及び単位修得の見込み等の出願資格で受験して合格した者が、本募集が規定する日までに卒業（修了）及び単位修得できなかった場合は、合格を取り消します。入学後に合格が取り消された場合でも、入学料は返還されません。
2. ④⑤⑥の出願資格による出願を希望する者は、出願資格の確認を行うので、令和7年9月5日(金)までに理学部入試係に申し出てください。

Ⅳ. 出願手続

※ 本募集に関する出願書類等の請求は、志願者のあて先を明記し270円分の切手を貼った返信用封筒角形2号（33cm×24cm）を同封の上、「理学部第2年次編入学出願書類等請求」と朱書した封筒を「本募集の問合せ先」に郵送してください。

(1) 出願期間

本募集要項冒頭の【募集の概要】を参照してください。

(2) 入学検定料の納付

検定料30,000円を郵便局又はゆうちょ銀行の窓口から納付してください。

納付日附印のある「振替払込受付証明書」が出願に必要ですので、ATMは使用しないでください。

※ 志願者が「災害救助法適用地域における自然災害の被災者」の免除特例の該当者（参照URL <https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/natural-disasters-exemption/>）の場合、検定料は不要です。該当する可能性がある場合は、出願前に「本募集の問合せ先」に申し出てください。

(3) 出願書類の提出（郵送のみ）

本募集指定の出願用封筒に下記の表の必要書類を同封して「速達・簡易書留郵便」で「本募集の問合せ先」に郵送してください。郵送以外の方法での出願は受理しません。

- i 出願書類に不備がある場合には、出願を受理しません。納付された検定料が不足の場合は書類の不備となり、出願は受理されません。出願が受理されなかった場合は出願書類を返却します。
- ii 受理された出願書類は返還しません。また、出願受理後は、いかなる理由があっても書類の変更は認めません。受理された出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

書 類	適 用 (*該当する志願者)
①入学志願票	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
②写真 (縦4cm×横3cm、2枚)	上半身・無帽・正面向きで、出願前3か月以内に白黒又はカラー撮影したものを、写真票及び受験票の所定欄に貼ってください。
③卒業証明書又は卒業見込証明書	出身学校または所属学校等の長が証明したもの *出願資格①、②、④、⑤、又は⑥により出願する志願者
④成績証明書	出身学校または所属大学等の長が証明したもの ※履修中で修得見込の科目については、「評価」の欄に印を付す。 ※証明書に修得見込の科目が表示されない場合は、履修中の科目が分かるもの(履修証明書・時間割等)を添付すること。
⑤在学期間証明書	所属大学が発行する在学期間証明書(本学所定の用紙) *出願資格③に該当する志願者
⑥出願承諾書	所属機関の長等によるもの(本学所定の用紙) *企業、研究機関、教育機関等に在職中の志願者
⑦TOEIC L&R 公式認定証 (生物学、地学コース)	編入学予定日前2年以内に受験したTOEIC L&Rのデジタル公式認定証の印刷体1部 *生物学、地学コースに出願する志願者
⑧検定料払込証明書	納付日附印のある「振替払込受付証明書(大学提出用)」を「検定料払込証明書」に貼ったもの
⑨志願者名票	本学所定の用紙に必要事項(志願者の住所、氏名等)を記入したもの
⑩返信用封筒	本学所定の封筒に、志願者のあて先を明記(必ず郵便番号を記入)し、410円分の切手(速達)を貼ったもの

◆検定料の返還請求が可能な場合

一旦納入された入学検定料は通常返還しませんが、次の事項に該当した場合に限り、検定料の返還を請求することができます。

- ① 検定料を納入したが、出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に納入した場合、又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 特例等により検定料が不要である志願者が、誤って納入した場合
- ④ 出願書類を提出したが、不備等により出願が受理されなかった場合

上記①②③に該当する場合は、「検定料返還請求書」を送付しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

上記④の場合は、出願書類返却の際に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

検定料返還に関する問合せ先

愛媛大学財務部財務企画課出納チーム

E-mailアドレス：suitou@stu.ehime-u.ac.jp

V. 選抜方法／試験科目、出題範囲／配点、評価基準および合否判定基準

(1) 選抜方法及び配点

(数学・数理情報コース)

個別学力試験(筆記) 200点、面接及び書類審査100点、計300点

(生物学コース、地学コース)

面接(口頭試問を含む。) 200点、書類審査200点、計400点

書類審査には、TOEICスコアの評価を含みます。

(2) 評価基準

個別学力試験(筆記):

志望する教育コースの2年次以降の学修に対応できるよう、専門科目の基礎学力について評価します。

面接:

目的意識、勉学意欲、志望コースの専門分野の基礎的知識、理解力などについて評価します。

書類審査:

出身学校等における単位の修得状況及び学業成績、志望動機、英語力(生物学、地学コース受験者)等について、総合的に評価します。

(3) 合否判定基準: 総合得点により合否を判定します。同点者は同順位とします。

(4) 個別学力試験(筆記)の専門科目の出題範囲

教育コース	専門科目	出題範囲
数学・数理情報	数 学	微積分(1変数関数に限る。)及び 線形代数(ベクトル、行列(連立1次方程式を含む。)、行列式)

VI. 個別学力試験の日時及び試験場

試験実施日／場所	試験科目	教育コース	試験時間
令和7年10月18日(土)	数 学	数学・数理情報	10:30～12:10
	面 接 (*口頭試問を含む。)	数学・数理情報	13:10～
		生物学*	
		地 学*	
注意事項 ① 試験開始20分前までに試験室に入室してください。なお、遅刻限度時刻は試験開始後30分です。 ② 試験場所等の詳細は、試験当日、理学部2号館前の掲示で確認してください。 ③ 受験者は、本学が交付した受験票を必ず携帯してください。			

Ⅶ. 合理的配慮を希望する入学志願者の出願

本学では、障害や病気等で合理的配慮の提供を希望する者が、受験において不利になることがないように、合理的配慮の提供を行っており、そのための相談を随時受け付けています。

受験の際に必要な合理的配慮については、内容によって対応に時間を要することがありますので、出願前のできるだけ早い時期に理学部入試係まで申請してください。

また、志願者本人からの申請が望ましいですが、本人からの説明が難しい場合は、保護者及び担任教諭等、本人の状態を詳しく説明できる者が代わりに申請することも可能です。

(1) 受験上の合理的配慮の申請について

受験の際に合理的配慮の提供を必要とする者は、以下の書類を出願書類とあわせて提出してください。

	障害者手帳所持者	障害者手帳未所持
受験上の合理的配慮申請書	○	○
身体障害者手帳、療育手帳、 精神障害者保健福祉手帳の写し	○	×
受験上で必要な合理的配慮に関する診断名が記載された、医師の診断書もしくは意見書の写し	○	○

なお、出願の期限までに提出が困難な場合、出願後、事故等により受験上の合理的配慮が必要になった場合は、早急に理学部入試係までご連絡ください。

また、通常と異なる解答方法を希望される場合には、対応に時間を要するため、出願前のできるだけ早い時期に申請をお願いします。

(注) 日常生活で使用している福祉機器（補聴機器、拡大鏡、杖、車椅子等）についても、受験上の合理的配慮の申請が必要です。なお、座布団、膝掛け、タオル（サイズは問わない）、ティッシュペーパー、ハンカチ、目薬については、受験上の合理的配慮の申請は不要です。

(2) 受験上の合理的配慮の決定通知

提出された書類により、決定された受験上の合理的配慮の内容を、申請者に郵送で通知します。

なお、申請書類の記載内容について、不明点や確認事項がある場合、受験上の合理的配慮の決定前に本学より連絡を行うことがあります。

(3) 連絡及び提出先

理学部入試係（7ページの本募集の問合せ先参照）

Ⅷ. 合格者発表／編入学確約書の提出／入学手続

本募集要項冒頭の【募集の概要】を参照してください。

なお、入学許可後または入学後に、出願書類の虚偽や卒業（修了）又は必要単位が修得できないことが発覚した場合は、入学許可を取り消します。

Ⅸ. 編入学後の既修得単位の認定

編入学者が出身学校等で修得した単位は、科目の内容の審査を行った上で、そのうちの一部が本学理学部の科目の単位として認定されます。（修得済みの単位がすべて認定されるわけではありません。）

2年次編入学者の標準修業年限は3年ですが、編入学した教育コースが定める科目の履修要件や規定の単位数を修得できなかった場合など、卒業に必要な修学期間が3年を超える場合があります。

X. 編入学初年度の学費・諸経費等

初年度に必要な学費・諸経費は、おおむね下記（令和7年度納付額）のとおりです。学費・諸経費等は今後改定される場合があります。在学中に授業料の改定が行われた場合には、その時点から改訂後の授業料が適用されます。

入学料	282,000円
授業料	535,800円（前期分：267,900円 後期分：267,900円）
その他	58,620円（理学部後援会費、理学部同窓会費、校友会費、 学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険）
合計	876,420円

XI. その他

1. 個人情報の取扱

出願書類に記載された氏名、住所等の個人情報は、本学における出願の事務処理、出願書類等に不備等があった場合の連絡、試験の実施、合格者発表、合格者への入学手続関係書類の送付等のために利用します。なお、出願書類等に不備があった場合、その迅速な訂正・補完のために、本学を受験されること及び提出した出願書類等に不備があることを、志願票の連絡先に通知する場合があります。

また、本選抜に係る個人情報は、合格者の入学後の教務（学籍、修学指導等）、学生支援（健康管理、奨学金申請等）、授業料納付等に関する業務、及び入試改善のための志願動向等の調査・分析等を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

2. 個別学力試験（筆記）の試験問題、正解又は解答例、出題意図の公表

試験問題、正解又は解答例、出題意図は、準備が整い次第、本学ホームページ「入学試験問題の公表」(<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/past-exam/>)で公表します。解答例は、標準的な解答例を示しています。著作権の関係上、問題の一部を掲載しない場合があります。

3. 編入学試験の個人成績の開示

本募集の第2年次編入学試験の個人成績を、受験者本人（代理人は不可）に限って開示します。開示の希望者は、下記請求期間内に郵送による請求手続きをしてください。期間内の消印があるものに限り受け付けます。

請求期間：令和8年5月1日(金)～5月31日(日)

請求方法：開示請求書、本選抜の受験票、および請求者のあて先を明記し460円分の切手を貼った返信用封筒（長形3号12cm×23.5cm）を同封し、「本募集の問合せ先」に郵送してください。開示請求書は、令和8年4月下旬以降、大学ホームページ（<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/results-release/>）からダウンロードできます。

開示方法：令和8年6月中旬頃、受験者本人あてに、郵送された受験票とともに簡易書留郵便で送付します。

※ 請求書等に不備がある場合、電話で問合せますので、請求書に必ず連絡の取れる連絡先を明記してください。

○本募集の問合せ先

本募集に関する問合せは、E-mailで下記の宛先に、原則として志願者本人が行ってください。

愛媛大学 理学部入試係

〒790-8577 愛媛県松山市文京町2番5号

E-mailアドレス：scigakum@stu.ehime-u.ac.jp